

**箕面市立第二総合運動場 市民温水プール ネーミングライツパートナー
選定会議議事概要**

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時：令和8年（2026年）3月3日（金）午前9時から午前10時00分
- (2) 開催場所：箕面市役所別館6階会議室B
- (3) 出席者：浅井 文彦（子ども未来創造局（生涯学習）担当部長）【会長】
 藪本 正博（子ども未来創造局長）【副会長】
 村田 尚記（総務部長）
 荻野 知崇（地域創造部長）
 松政 秀史（みどりまちづくり部担当部長）
- (4) 事務局：子ども未来創造局保健スポーツ室
- (5) 応募者：株式会社関西テレビライフ

2. 議事概要

(1) 開会および概要説明

事務局より、本事業の目的（施設の魅力向上、財源確保、市民サービスの充実）および審査基準について説明を行った。

<審査基準および評価項目>

合計100点満点とし、総合得点60点以上かつ「愛称の適切性」の平均点が15点以上を採択基準とする。

- ・ 定量評価（50点）：経営の安定性(25点)、契約期間(15点)、地域貢献(10点)
- ・ 定性評価（50点）：愛称の適切性(30点)、施設の魅力・市民サービス向上(20点)

(2) 応募提案の基本内容

今回の応募案件に関する基本事項は以下のとおりである。

- ・ 希望愛称：KTVスイミングパーク箕面
- ・ 提案金額：年額1,200,000円（税抜）
- ・ 契約期間：5年間

(3) 選定会議における意見交換

- ・ 市内に既存の営業拠点（KTVスイミングスクール石橋）があり、地域住民にとって「KTV」の名称は馴染み深く、信頼感や安心感を得やすいのではないかと

の意見があった。

- ・当該事業者は昭和 52 年から市内で運営を続けており、北摂エリアを中心に多店舗展開しているため、集客が期待できるのではないかとの意見があった。
- ・市内の既存施設との相乗効果により、積極的な利用促進や認知度向上が期待されるのではないかとの見解が示された。
- ・市民温水プールの認知度をさらに高め、より素晴らしい施設となることへの期待が寄せられた。
- ・「箕面のプールといえばK T Vスイミングパーク」と呼ばれる存在になることを期待する声もあった。

(4) 選定会議の結果

構成員による採点の結果、以下のとおり優先交渉権者を決定した。

- ・優先交渉権者：株式会社関西テレビライフ
- ・総合得点：66 点（100 点満点）※有効提案基準（60 点以上）に適合

(5) 選定会議としての結論

上記に基づき判断した結果、株式会社関西テレビライフは箕面市立第二総合運動場市民温水プールのネーミングライツパートナーとして適格であると認め、優先交渉権者に選定した。